

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	北海道		市町村名	弟子屈町		地区名	弟子屈市街地地区			面積	32.1ha		
交付期間	平成21年度～平成25年度		事後評価実施時期	平成25年度		交付対象事業費	566.9百万円	国費率	36.31%				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名										
			基幹事業	道路(町道給食センター線・町道釧路川沿通学路線)、公園(摩周温泉公園)、地域生活基盤施設(弟子屈中央広場・地域防災施設・情報板・摩周観光交流広場)、高質空間形成施設(憩いの広場・摩周観光交流広場トイレ)、既存建造物活用事業(地域防災施設・摩周観光交流館)									
	当初計画から削除した事業		提案事業	地域創造支援事業(総合給食センター・防災マップ・テシカフォーラム・温泉交流施設)									
			事業名			削除/追加の理由			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響				
	提案事業	なし			地域創造支援事業(弟子屈中央広場環境整備)			他官省(文部科学省)により事業を実施することとしたため。			なし		
新たに追加した事業		基幹事業	道路(町道湯の島公園線)、地域生活基盤施設(観光情報案内板)			観光交流拠点となる摩周観光交流広場の周辺道路の整備や、情報案内板の設置を実施し、更なる観光交流拠点の再生を充実させることとしたため。			なし				
		提案事業	なし										
交付期間の変更		当初	平成21年度～平成25年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響								
		変更	-										
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	指標1	公園・広場に対する満足度	%	15.6	H21	25	H25		42.5	○	あり なし	河川沿いの病院跡地を利用した公園整備により、市街地での潤いのある空間創出につながった。	-
	指標2	地域防災に関する満足度	%	11.3	H21	20	H25		31.0	○	あり なし	災害時避難場所等の防災拠点整備により、地域住民及び観光客の安心・安全の確保につながった。	-
	指標3	観光客入り込み数	人/年	861,300	H20	900,000	H25		684,000	×	あり なし	観光交流館の整備をしたが、町全体の観光客入り込み数は、依然減少を続けている。	平成26年 6月
指標4										あり なし			
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値						
	その他の数値指標1	観光交流館の来客数	人/年	111,000	H20				223,000			観光交流館を整備したことで、来客数が増加し、町民と来訪者が交流できる空間の創出につながった。	平成26年 6月
その他の数値指標2	-												
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>整備した公園沿いの河川敷で稚魚放流事業が実施される等、町民の憩いの場とともに環境教育の場としても活用されている。</li> <li>観光交流館と併せて直売所を関連事業により整備したことで、町民と来訪者の交流の場としても活用されている。</li> </ul>												
5)実施過程の評価	実施内容			実施状況				今後の対応方針等					
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	住民参加プロセス	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								
	持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった								